

第二期 保健事業計画（データヘルス計画）中間評価

大山町
令和4年3月

1	計画の基本的な考え方	・・・・・・・・・・ P 1
	1) 背景・目的	・・・・・・ P1
	2) 計画の期間	・・・・・・ P1
	3) 中間評価の趣旨と方法	・・・・・・ P1
2	中間評価	・・・・・・・・・・ P 1
	1) 中長期的目標	・・・・・・ P1
	2) 短期的目標	・・・・・・ P2
	3) 各保健事業の評価	・・・・・・ P3
3	今後の取り組みに向けて	・・・・・・・・・・ P 9

1 計画の基本的な考え方

1) 背景・目的

近年、特定健康診査（以下「特定健診」という。）の実施や診療報酬明細書（以下「レセプト」という。）等の電子化の進展、国保データベースシステム（KDB システム）（以下「KDB」という。）等の整備により、市町村国保、国保組合及び後期高齢者医療広域連合（以下「保険者等」という。）が健康や医療に関する情報を活用して被保険者の健康課題の分析、保健事業の評価等を行うための基盤整備が進んできました。

こうした中、平成 25 年 6 月 14 日に閣議決定された「日本再興戦略」において、「全ての健康保険組合に対し、レセプト等のデータの分析、それに基づく加入者の健康保持増進のための事業計画として「データヘルス計画」の作成・公表、事業実施、評価等の取組を求めるとともに、市町村国保が同様の取組を行うことを推進する」との方針が示されました。

これまで、保険者等においては、レセプトや統計資料等を活用することにより、「特定健診等実施計画」の策定や見直し、その他の保健事業を実施してきましたが、今後は、更なる被保険者の健康保持増進に努めるため、保有しているデータを活用しながら、被保険者をリスク別に分けてターゲットを絞った保健事業の展開や、ポピュレーションアプローチから重症化予防まで網羅的に保健事業を進めていくことなどが求められています。

こうした背景を踏まえ、平成 26 年 4 月 1 日には国民健康保険法に基づく「保健事業の実施等に関する指針」の一部改正が行われ、保険者等は健康・医療情報を活用して PDCA サイクルに沿った効果的かつ効率的な保健事業の実施を図るための保健事業の実施計画（データヘルス計画）を策定した上で、保健事業の実施・評価・改善等を行うことが明記されました。

2) 計画の期間

第二期データヘルス計画は、第三期大山町特定健診等実施計画や第三期鳥取県医療費適正化計画との整合性を図る観点から、平成 30 年度から令和 5 年度までの 6 年を計画期間とします。

3) 中間評価の趣旨と方法

事業進捗状況を設定した目標への達成を確認し、見直し等による後期計画事業の方向性を明らかにします。第二期データヘルス計画策定時点と令和 2 年度までの実施内容で比較します。

2 中間評価

大山町では健康・医療情報の分析から、生活習慣病関連の疾患が医療費の多くを占めており、さらに「糖尿病」や「高血圧症」などの疾患が重症化して、虚血性心疾患や脳血管疾患などを引き起こし、要介護状態や死亡につながっていることがわかりました。

第二期データヘルス計画では特定健診と特定保健指導を中心とした生活習慣病対策に取り組むとともに重症化予防をさらに効果的に進める取り組みを進めています。

令和 2 年度までのデータの実績、各事業の取り組みは次のとおりです。

1) 中長期的目標

① 脳血管疾患による標準化死亡比の減少

重症化予防の取り組みにより、脳血管疾患による減少を目指します。

＜脳血管疾患 標準化死亡比＞＊＞

現状値 (H23-H27 平均)	目標値 (R1-R5 平均)	実績 (H30)	実績 (R1)	実績 (R2)
136.9	100	123.3	147.2	R4.2 月以降に決定予定

＊標準化死亡比：全国の平均を 100 として、標準的な年齢構成にあてはめて比較したもの

② 生活習慣病に係る医療費の割合の削減

生活習慣病の発症と重症化を予防することで、「糖尿病」「慢性腎不全(人工透析あり)」「高血圧症」に係る医療費割合の減少を目指します。

＜「糖尿病」「慢性腎不全(人工透析あり)」「高血圧症」に係る医療費の割合＞

現状値 (H28)	目標値 (R5)	実績 (H30)	実績 (R1)	実績 (R2)
15.8%	15.0%	17.3%	13.1%	14.1%

③ 特定健診の結果で、基準値を超える人の割合の減少

生活習慣の改善、適切な受診により、50 代男性の高血圧症と LDL コレステロール及び 50 代の女性の LDL コレステロール重症者の割合の減少を目指します。

＜特定健診の結果で、基準値を超える人の割合の減少＞

健診項目	現状値 (H28)	目標値 (R5)	実績 (H30)	実績 (R1)	実績 (R2)
50 代男性 拡張期血圧 100 以上	14.7%	8.7%	11.4%	16.1%	16.6%
50 代男性 LDL-C140 以上	38.2%	32.2%	34.1%	30.8%	41.2%
50 代女性 LDL-C140 以上	46.9%	40.9%	48.7%	46.9%	45.2%

2) 短期的目標

① 特定健診受診率、がん検診受診率の向上

健康意識の低い人へのアプローチや無関心層への受診勧奨により、40 代・50 代の特定健診及びがん検診の受診率向上を目指します。

値：％

			H28	H29	H30	R1	R2
特定健診 受診率	40 代男性	目標値				16.5	17.0
		現状値	15.5	18.6	21.0	20.5	15.7
	40 代女性	目標値				21.0	21.5
		現状値	20.0	25.8	24.2	22.5	14.5
	50 代男性	目標値				15.5	16.0
		現状値	14.5	16.4	19.4	16.7	14.6
	50 代女性	目標値				24.1	24.6
		現状値	23.1	22.7	27.9	27.7	23.5
胃がん検診受診率		目標値				16.0	17.0
		現状値	14.0	15.2	18.1	17.5	13.9
大腸がん検診受診率		目標値				26.0	27.0
		現状値	21.6	21.7	24.1	21.9	19.0

特定健診受診率では令和元年度は目標達成、令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症の影響もあり目標達成できませんでした。

胃がん検診では令和元年度は目標達成、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響もあり目標達成できませんでした。

大腸がん検診は令和元年度、令和2年度ともに目標達成できませんでした。

② 健康的な生活習慣に心がける人の増加

生活習慣の改善に取り組む人が増えることにより、「食事の速度が速い」「就寝前に夕食を取る」「運動習慣がない」「生活習慣を改善する意欲がない」人の割合の減少を目指します。

値：％

		H28	H29	H30	R1	R2
食べる速度が速い	目標値				30.0	29.0
	実績	32.3	34.9	32.5	32.8	31.8
週3回以上就寝前に夕食をとる	目標値				21.0	19.5
	実績	24.4	20.5	26.4	22.0	22.5
週2回以上1日30分以上の運動習慣がない	目標値				61.2	60.4
	実績	62.9	62.7	59.5	58.7	61.6
生活習慣を改善する意欲がない	目標値				29.0	28.0
	実績	30.5	33.0	27.8	28.6	29.0

令和元年度までは「食事の速度が速い」「就寝前に夕食を取る」「運動習慣がない」「生活習慣を改善する意欲がない」人の割合が減少傾向でしたが、令和2年度は増加しました。

③ 生活習慣病を放置する人の割合の減少

健診結果で医療機関の受診が必要な基準に該当する人が、確実な受診を行うことにより、要受診勧奨者の割合の減少を目指します。

《特定健診受診者に占める未治療者の割合》

値：％

		H28	H29	H30	R1	R2
血圧値分類Ⅱ度以上（160～179、100～109）	目標値				2.90	2.85
	実績	4.40	6.20	6.90	7.00	6.90
HbA1c 6.5%以上	目標値				3.40	3.35
	実績	3.80	4.00	2.90	3.00	2.90
LDL-C180以上	目標値				3.80	3.80
	実績	5.70	5.90	7.10	6.60	4.70

HbA1cの項目は令和元年、令和2年度ともに目標を達成しました。

LDLの項目は改善傾向にはありますが、目標達成できませんでした。

3) 各保健事業の評価

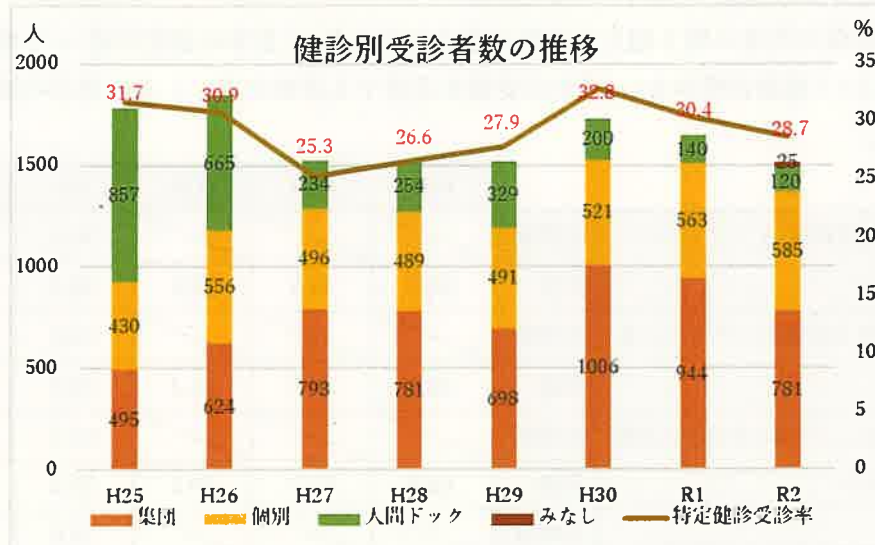
(1) 受診率向上対策

① 特定健診受診率向上事業

【目的】特定健診の新規受診者を増やすことで、疾病の早期発見と特定健診受診率の向上を図る。

【取り組み内容と現状】

成果指数	H28	H29	H30	R1	R2
特定健診受診率の増加	26.6%	27.9%	32.8%	30.4%	28.7%



資料「健康対策課調」

平成30年度は健診を無料化したことにより、受診者が増加しました。

一方で、人間ドックは自己負担額が増えることとなり、人間ドック受診者は減少しました。

令和元年度は同様の対策を行いましたが、受診率はやや減少となりました。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、集団健診の定員数を縮小したことや、受診控えなどもあり受診率は低下しました。

令和2年度から健診の受けやすい環境を整えるため、町外の2医療機関で特定健診が受診できるようになりました。また、みなし健診（医療機関での受診データを活用）を始めました。

令和2年度から受診勧奨を民間企業に委託し、未受診者へAI（人工知能）を活用した受診勧奨を行いました。勧奨後は予約の電話が増加しました。

【今後の対策】

新型コロナウイルス感染症の影響が考えられますが、集団健診の定員数や、日程を増やし、受診しやすい体制を整えます。

新規受診者を増やすための対策と情報発信方法を検討します。

- ・住民ニーズ（特に農業者）に対応し、集団健診を受けやすい時期や会場、時間帯での実施
- ・ゴミカレンダーに集団健診日程を掲載
- ・農業者等の集まりで健診の重要性をPR
- ・転入者や国保新規加入者にも健診を案内
- ・鳥取県国民保険団体連合会、大山チャンネルを運営する民間企業と連携して健診のPR動画を制作、放映
- ・予約しやすい仕組みの検討

② がん検診受診率向上事業

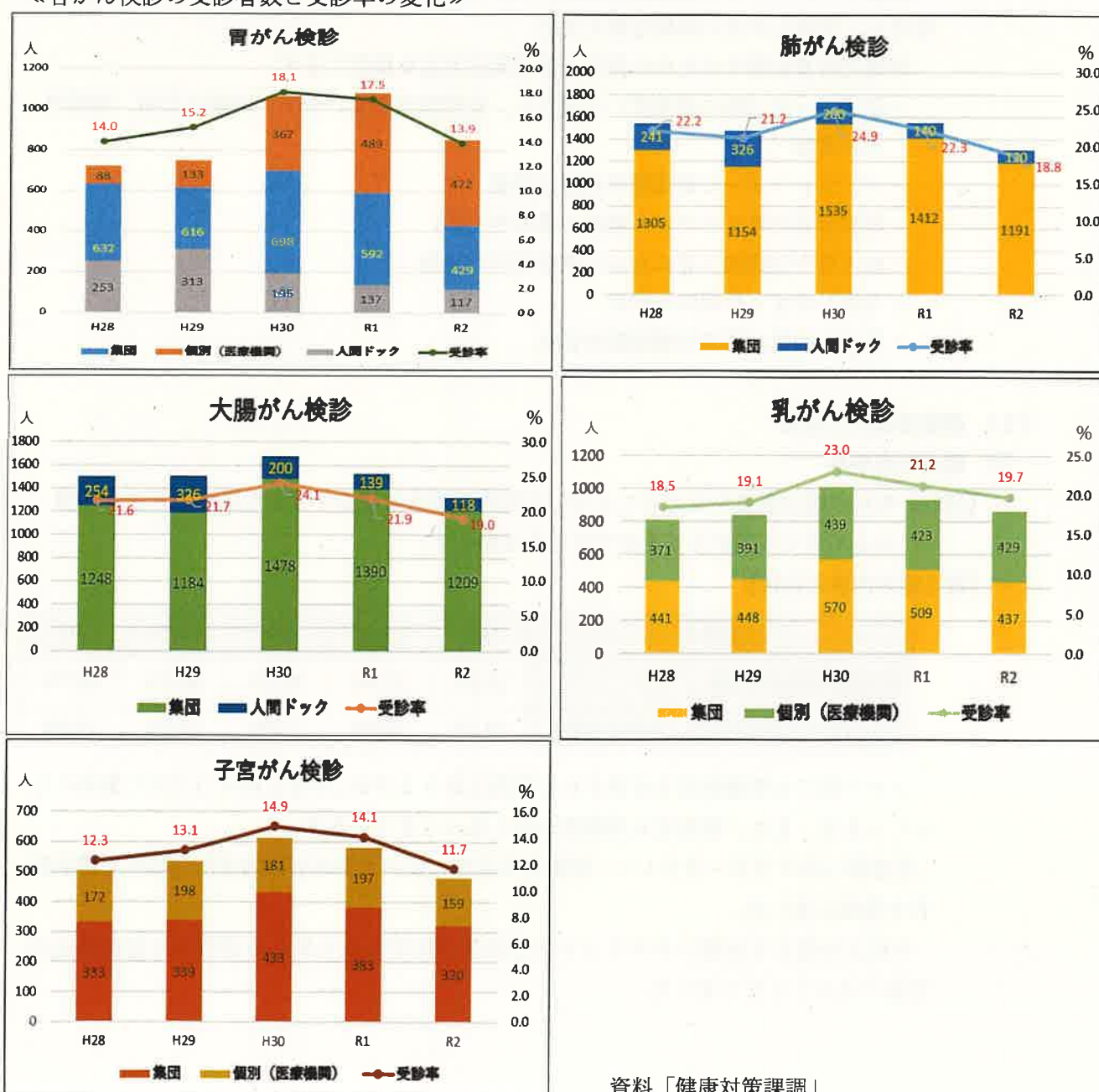
【目的】がん検診の新規受診者を増やすことで、がんの早期発見とがん検診受診率の向上を図る。

【取り組み内容と現状】

成果指数	H28	H29	H30	R1	R2
胃がん検診受診率	14.0%	15.2%	18.1%	17.5%	13.9%
肺がん受診率	22.2%	21.2%	24.9%	22.3%	18.8%
大腸がん受診率	21.6%	21.7%	24.1%	21.9%	19.0%
子宮がん受診率	18.5%	19.1%	23.0%	21.2%	19.7%
乳がん受診率	12.3%	13.1%	14.9%	14.1%	11.7%

(人間ドックを含む)

《各がん検診の受診者数と受診率の変化》



資料「健康対策課調」

平成30年度は検診を無料化したことにより、各がん検診の受診者が増加しました。
令和元年度は同様の対策を行いましたが、受診率はやや減少となりました。

令和元年度から乳がん検診を受けることができない年代の早期発見のため、30歳代の乳がん対策として乳房超音波検査費の助成を始めました。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、集団健診の定員数を縮小したことや、受診控えなどもあり受診率は低下しました。

令和2年度から胃がんリスク検査（ピロリ菌抗体等検査）を始めました。また、大腸がん検診が衛生上の都合で、検体容器の受け取り方法と検体の提出方法を変更しました。

がん検診では個別医療機関の受診者が増加傾向にあります。

【今後の対策】

新型コロナウイルス感染症の影響が考えられますが、集団健診の定員数や、日程を増やし、受診しやすい体制を整えます。

新規受診者を増やすための対策と情報発信方法を検討します。

- ・住民ニーズ（特に農業者）に対応し、集団健診の受けやすい時期や会場、時間帯での実施
- ・ゴミカレンダーに集団健診日程を掲載
- ・農業者等の集まりでがん検診の重要性をPR
- ・転入者や国保加入者にもがん検診案内を実施
- ・予約しやすい仕組みの検討
- ・胃がん検診の個別医療機関の拡大

（２）健康意識向上対策

① 健康教育事業

【目的】 町民の健康意識を高めることで、定期的に健診を受診する人や健康的な生活習慣に心がけて生活することができる人を増やす。

【取り組み内容と現状】

成果指数	H28	H29	H30	R1	R2
特定健診受診率の増加	26.6%	27.9%	32.8%	30.4%	28.7%
生活習慣改善意欲がない人の割合の減少	30.5%	33.0%	27.8%	28.6%	29.0%

コロナ禍でも健康教室を希望される集落はありますが、希望されるのは同じ集落になっています。また、参加者も高齢者が多くなっています。

若者層へのアプローチとして、町内3中学校において生活習慣病予防に関する健康教育を実施しました。

令和2年度より新型コロナウイルス感染症の影響で人を集める講演会や健康教室が実施できにくくなりました。

【今後の対策】

新型コロナウイルス感染症の流行状況を見ながら、健康教室を健診の受診率の低い地区での実施を検討していきます。

集合型の講演会や教室だけでなく、健康意識を向上させる手立てを検討していきます。

② 運動習慣定着事業

【目的】生活習慣病を予防するため、運動習慣のない人を減らし、運動の定着を図る。

【取り組み内容と現状】

成果指数	H28	H29	H30	R1	R2
週2回以上1日30分以上の運動習慣がない人の割合の減少	62.9%	62.7%	59.5%	58.7%	61.6%

令和元年度までは民間企業、筑波大学、鳥取大学と連携し、運動に関する調査研究を実施しました。

民間企業と連携し、平成30年度から健康チェックイベントを実施し、運動習慣の改善が図れました。

大山チャンネル等で撮影した大山賛歌体操を放送し、家庭や地域での運動習慣に活用してもらうように普及しました。

令和元年度までは運動習慣がない人の割合が減少していましたが、令和2年度には増加がみられ、新型コロナウイルス感染症の影響で運動ができる機会が減少したと考えられます。

令和2年度より新型コロナウイルス感染症の影響で健康チェックの実施回数が減少しました。

【今後の対策】

新型コロナウイルス感染症の影響もあり、実施できにくい教室内容もありますが、啓発しやすい内容を検討していきます。

民間企業と運動に関する連携を密にし、健康チェックを再開します。

③ 食生活改善事業

【目的】食に関する知識や自らの食を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人を増やす。

【取り組み内容と現状】

成果指数	H28	H29	H30	R1	R2
食べる速度が速い人の割合の減少	32.3%	34.9%	32.5%	32.8%	31.8%
週3回以上就寝前に夕食をとる人の割合の減少	24.4%	20.5%	26.4%	22.0%	22.5%

集団健診時に食生活改善推進員が減塩味噌汁試飲を行っていましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため令和2年度から中止しました。

食生活改善に関するリーフレットを購入し、食生活改善推進員が集落で行う教室で配布しました。

若者層へのアプローチとして、町内3中学校において生活習慣病予防（食生活）に関する健康教育を実施しました。

新型コロナウイルス感染症の影響で調理実習や試食ができない中、啓発の方法を変更しました。

【今後の対策】

新型コロナウイルス感染症の影響もあり、実施できにくい教室内容もありますが、啓発しやすい内容を検討していきます。

（3）重症化予防対策

① 特定保健指導事業

【目的】内臓脂肪型肥満に着目し、生活習慣を改善するための保健指導を行い、糖尿病等の生活習慣病の発症を予防する。

【取り組み内容と現状】

成果指数	H28	H29	H30	R1	R2
特定保健指導終了率	44.9%	54.8%	68.7%	48.1%	56.3%
特定保健指導対象者の減少率	20.6%	12.5%	20.6%	14.9%	15.5%

新型コロナウイルス感染症の影響で訪問できにくい状況ではありましたが、特定保健指導の対象になる可能性が高い方には集団健診会場で初回面接をするなど工夫をして実施しました。

集団健診結果返し時は特定保健指導対象者には必ず面接や電話で話をしました。

積極的指導の方の指導終了が難しい状況があります。

指導による効果まで評価ができない等、終了率高いですが、課題もみえるようになっています。

【今後の対策】

特定健康診査の結果から抽出された特定保健指導対象者に効果のある保健指導となるように評価数値を検討します。

指導効果が得られるよう、面接の実施方法などを他の市町村から情報収集したり、指導媒体を工夫したり、専門職で情報共有していきます。

② ハイリスク者受診勧奨事業

【目的】医療機関への受診が必要な者が確実に治療を開始することで、新規人工透析や心疾患、脳血管疾患の発症を抑制する。

【取り組み内容と現状】

《特定健診受診者に占める未治療者の割合の減少》

成果指数	H28	H29	H30	R1	R2
血圧値分類Ⅱ度以上（160～179、100～109）	4.40%	6.20%	6.90%	7.00%	6.90%
HbA1c 6.5%以上	3.62%	4.00%	2.90%	3.00%	2.90%
LDL-C180 以上	4.34%	5.90%	7.10%	6.60%	4.70%

ハイリスクの対象者には受診勧奨のみだけではなく生活指導も行いました。

医師にハイリスク対象者の基準値を相談し、数値を見直しながら実施しました。

ハイリスク対象者が多く、指導する専門職が足りないという課題がみえてきました。

ハイリスク対象者は紹介状がない人もあり、受診結果が確認しきれない場合があります。

【今後の対策】

現在ハイリスク指導者は、糖尿病と腎機能低下の方を対象にしていますが、有病状況を見ると高血圧症の方へのアプローチも検討する必要があります。

3 今後の取り組みに向けて

令和2年度は新型コロナウイルスの影響で特定健診及びがん検診の受診率は下がっています。

事業を実施するにあたって、特定健診の受診率が重要になりますので、受診勧奨を強化することが必要になります。保健推進員や民間事業者等との連携により、健診未受診者などへの受診勧奨を積極的に行い、受診者数の増加と生活習慣病の早期発見による医療費の削減を図ります。

また食、運動、健診を柱とした「大山町民総健康づくり運動」に引き続き取り組み、生活習慣病予防と重症化予防を目的に、効果的かつ効率的な事業の推進を図ります。

